

「宮崎県立美術館のこれからを語る会」

開催要項

1 趣 旨

宮崎県立美術館は、開館以来、「県民に親しまれる開かれた美術館」をコンセプトに様々な事業に取り組み、多くの県民に美術に親しむ機会を提供するなど、本県における美術に関わる活動の中核となる役割を担ってきた。

この間、社会の変化や県民ニーズの多様化も進み、宮崎県立美術館に対する期待も一層高まっている。

そこで、開館20周年を迎えたこの機に、今後の県立美術館の在り方についてオープンに議論する。

2 日 時

平成28年2月12日（金） 午前10時30分から午前11時30分まで

3 会 場

県庁本館講堂

4 参加者

県立美術館協議会委員、有識者、知事、県教育長
事務局（生涯学習課、県立美術館）

5 日 程

（1）開会行事

- ア あいさつ 県教育委員会教育長 飛 田 洋
- イ 会の進め方の確認

（2）協 議

ア テーマ

社会の進展や県民の多様なニーズに対応していくために、宮崎県立美術館はこれからどんなことに取り組みなければならないのか。

～ 宮崎県立美術館の10年後の姿を描くために ～

イ 視 点

- 県民にとって、県立美術館はどのような存在であるべきか。
- 県立美術館周辺の文化・社会教育施設や、公的機関（市町村や学校を含む）、企業、民間団体等と連携した事業展開の在り方
- 今後の作品収集や調査研究、県内及び他県美術館との交流展等の実施の在り方

6 閉会行事

あいさつ 県教育委員会教育長 飛 田 洋